



「経済産業省認定GNT100選企業」

フロイント産業株式会社

個人投資家様向け説明会資料

JASDAQ

(証券コード 6312)

2016年6月

目次

I. 会社概要	P 3
II. 前期業績（2016年2月期）	P12
III. 第6次中期計画及び事業環境	P16
IV. 今期業績予想及び株主還元	P26
V. 参考資料	P31

I .会社概要

プロフィール

- 社名 : フロイント産業株式会社
- 設立 : 1964年4月
- 代表者 : 代表取締役社長 伏島 巖
- 所在地 : 東京都新宿区大久保一丁目3番21号
- 資本金 : 10億3,560万円 (2016年2月末現在)
- 売上高 : 190.2億円 (2016年2月期:連結)
- 従業員数 : 382名 (2016年2月末現在:連結)
- 事業内容 : 機械事業・・・造粒・コーティング装置等の製造販売
化成品事業・・・医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
- 関連会社 : FREUND-VECTOR、フロイント・ターボ株式会社



〈社名の由来〉

フロイントはドイツ語で“友達”を意味します。当社の創業者（現 名誉会長）が創業の構想を友人と考えている中で、社名の話になり、二人はFreund（友達）であったので、フロイントと名づけました。

当社ロゴは、“友”という文字のくずし字をデザイン化したものです。

フロイントのモットー
創造力で未来を拓く

- 独創性豊かな製品の創造
- 先見力で新しい市場ニーズの創造
- 組織を活性化する経営基盤の創造
- 困難に立ち向かうチャレンジ精神の創造
- 潤いのある人間関係の創造

当社グループは、“100年企業に向けた第2の創業へ”
本格的な第一歩を踏み出し、“一体感”のある事業経営“を
更に強化していく方針です。

当社グループ

独創的技術でのグローバル化を積極的に推進

技術開発研究所



FREUND-VECTOR CORPORATION

FREUND-VECTOR社



技術
アライアンス

フロイント・ターボ
株式会社

粉体装置
の製造・販売

フロイント産業
株式会社

輸入

海外
メーカー

海外
ユーザー
機械装置の販売
化成品の販売

国内
ユーザー
機械装置の販売
化成品の販売

フロイント・ターボ社



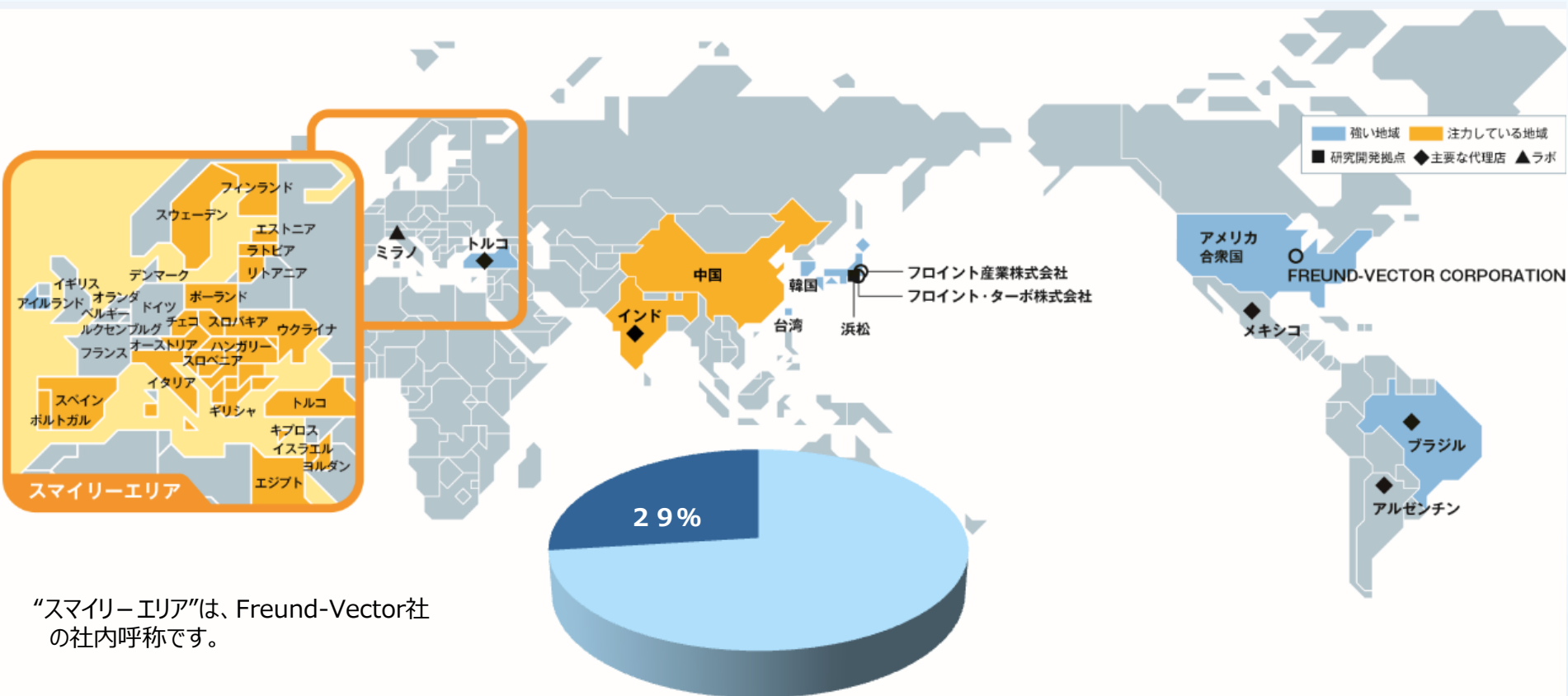
エリア分担のグローバル展開

フロイント産業

【アジアエリア】

FREUND-VECTOR社

【北米・南米・欧州・中東エリア】



連結海外売上高
2016年2月期

ビジネスモデルの特徴はPenとInk

1. 機械部門 (Pen)

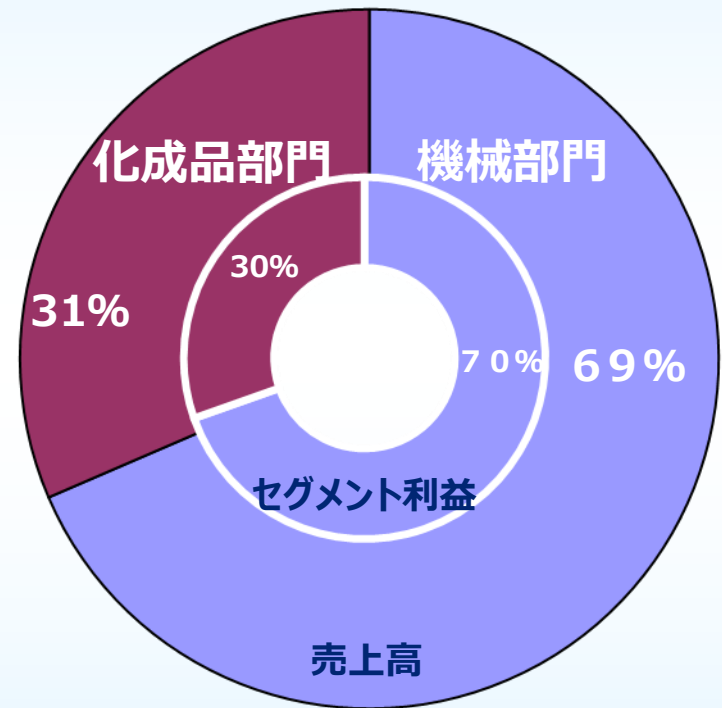
- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに**造粒、コーティング装置**などを製造・販売。
- コーティング装置の**国内販売シェアはトップ**。アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速。**世界で製剤技術と機械装置を唯一共有**する。
- 造粒・コーティング技術に**粉碎・分級技術を融合**させることで産業向け装置の拡販も注力。

2. 化成品部門 (Ink)

- **医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品**などを製造・販売。
- 医薬品添加剤は、GMP(*)対応設備で生産。
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ。
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で**栄養補助食品やシームレスミニカプセル**を商品化。

(*) GMP : Good manufacturing Practice

セグメント別 売上高及び利益構成



(2016/2期)

連結売上高 190.2億円

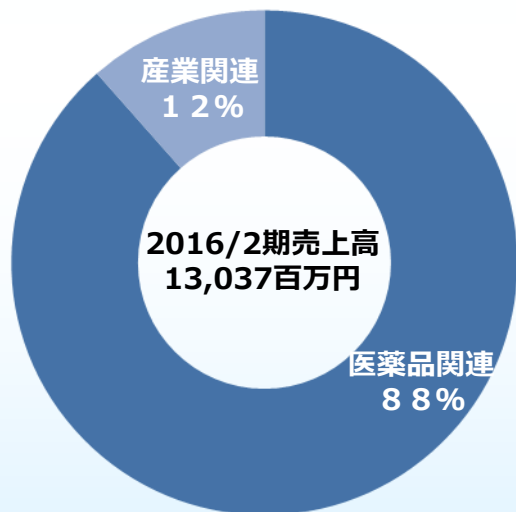
連結営業利益 13.4億円

医薬品会社向け造粒・コーティング装置が主力

主力製品群

造粒装置 コーティング装置 錠剤印刷装置 乾燥装置
シームレスミニカプセル装置 粉碎装置 分級装置

向け先別売上構成 (2016/2期)



流動層造粒乾燥
コーティング装置



流動層造粒装置



自動錠剤
コーティング装置



シームレス
ミニカプセル装置



連続造粒装置



オールインタイプ
コンテインメントラボ機



粉碎装置



錠剤印刷装置

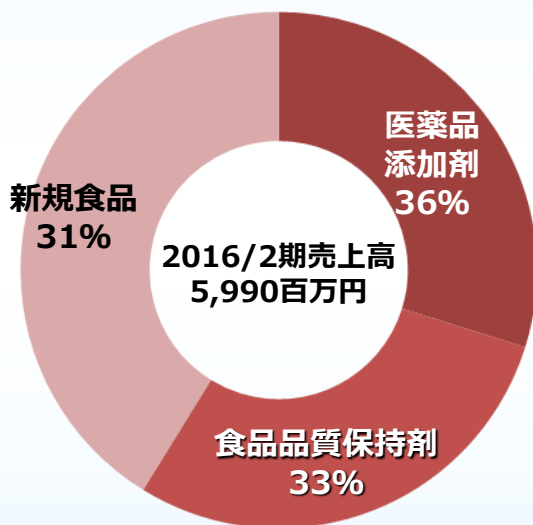


分級装置



医薬品添加剤・栄養補助食品から食品品質保持剤を販売

化成品事業の売上構成



医薬品添加剤

- ・直打用マンニトール・乳糖
- ・球形顆粒
- ・吸着剤・固形化剤・流動化剤
- ・白色着色剤
- ・滑沢剤
- ・光沢剤
- ・賦形剤



食品品質保持剤

- ・食品添加剤
- ・食品品質保持剤



栄養補助食品・他

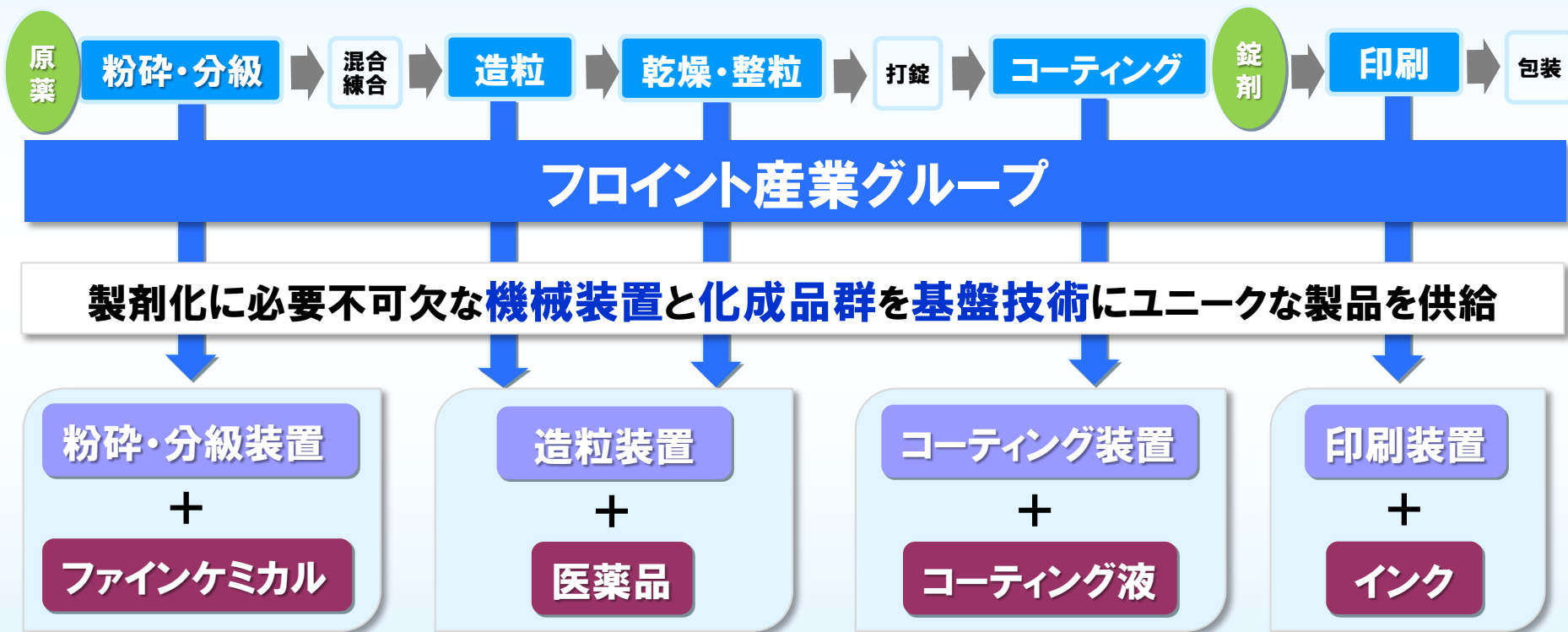
- ・シームレスミニカプセル
- ・AQshelax（水性シエラック液）
- ・サプリメント
- ・キトコート



当社グループのビジネスフィールド

【医薬品関連ビジネスモデル】

〈下記図は医薬品製造ラインのイメージです〉



将来的は連続式生産システムの提供へ

II.2016年2月期業績

2016年2月期業績実績

- 売上高は、ジェネリック関連堅調で9%増収。
- 増収効果で開発費負担増を吸収し、17%営業増益。

(単位：百万円)

	2015/2期	2016/2期	前年比増減	
	実績	実績	金額	%
売上高	17,424	19,027	+1,603	+9.2
営業利益	1,150	1,346	+196	+17.1
経常利益	1,249	1,394	+145	+11.6
純利益	695	961	+265	+38.1
一株純利益 (注)	40.36	55.74	+15.38	
設備投資	545	266	△279	△51.2
減価償却費	308	321	+13	+4.4
研究開発費	592	687	+94	+16.0

(注) 2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、一株利益は分割調整後に修正しております。

【機械部門】概況

- F R E U N D - V E C T O R社は、北米、欧州向け堅調。
- フロイント・ターボ社は、営業体制強化策が奏功。

(単位：百万円)

	2015/2期		2016/2期	
	金額	前年比	金額	前年比
売上高	10,941	△0.6%	13,037	+19.2%
単体	6,887	△2.7%	7,784	+13.0%
F R E U N D - V E C T O R社	3,905	△0.3%	4,686	+20.0%
フロイント・ターボ社	999	+27.7%	1,205	+20.5%
セグメント利益	1,108	△10.8%	1,189	+7.3%
【主要子会社】				
F R E U N D - V E C T O R社	291	+72.7%	293	0.9%
フロイント・ターボ社	△12	-	94	-
【地域別売上高】				
日本	6,638	△0.2%	7,668	+15.5%
北・中南米	2,664	△7.6%	3,491	+31.1%
欧州・アフリカ	440	△37.3%	982	+123.0%
中東・アジア・大洋州	1,197	+56.3%	894	△25.3%

【化成品部門】概況

- 医薬品添加剤はジェネリック向け伸長だが、新規食品のユーザーの生産調整継続。
- FREUND Pharmatec Ltd.は売却。

(単位：百万円)

	2015/2期		2016/2期	
	金額	前年比	金額	前年比
売上高	6,482	△2.0%	5,990	△7.6%
医薬品添加剤	2,135	+8.3%	2,132	△0.1%
食品品質保持剤	1,952	+1.9%	2,004	+2.7%
新規食品	2,394	△12.1%	1,853	△22.6%
セグメント利益	474	+25.1%	519	+9.6%
FREUND Pharmatec (注)	△190	△1.1%	△140	△26.4%
為替 (円/ユーロ：+は円安)	140.35	+10.6	134.31	△6.04

(注) 2016年2月4日に、連結子会社であったFREUND PHARMATEC LTD.の全株式を売却したことに伴い、みなし売却日を2016年1月1日として同社を連結の範囲から除外しております。

Ⅲ.第6次中期計画及び事業環境

政府のジェネリック振興策は想定を大幅に上回るスピード

第6次中期経営計画期間の重点施策

機械部門 …… グローバル展開加速と製品開発強化

化成品部門 …… 新製品拡充と既存品の競争力強化

政府のジェネリック医薬品普及目標
60%→80%への引上げ（2020年度末まで）

昨年公表された政府のジェネリック薬普及目標は想定を上回るスピードと高い数値



前期はジェネリック医薬品関連での失注が無いように
国内の営業資源はジェネリック関連受注に注力

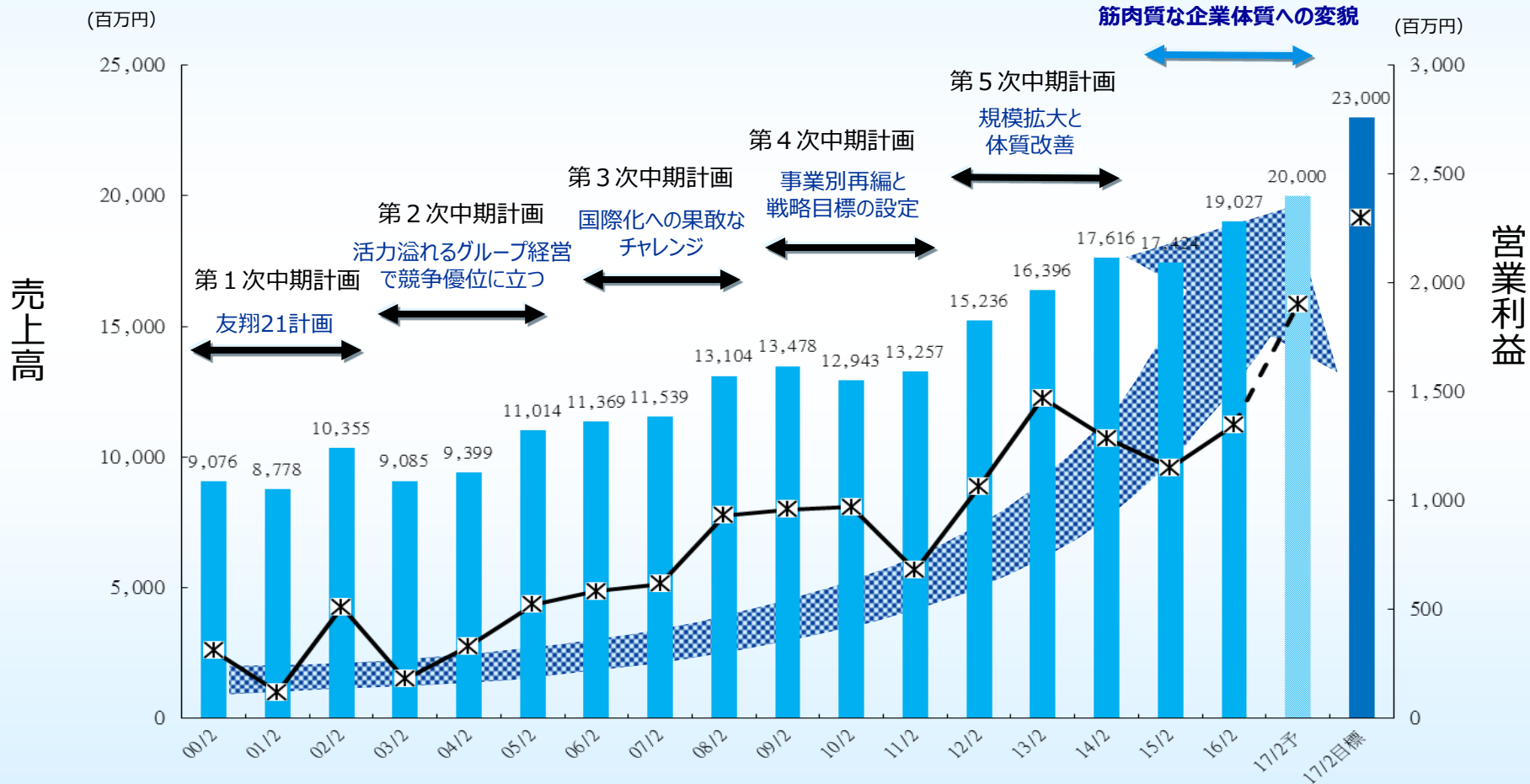
第6次中期経営計画 (2015/2期～2017/2期)

〈2017/2期目標〉 ■ 売上高 230億円

■ 営業利益 23億円

(為替前提：USD:100円、€:145円)

第6次中期計画
創造的成長の実現と
筋肉質な企業体質への変貌



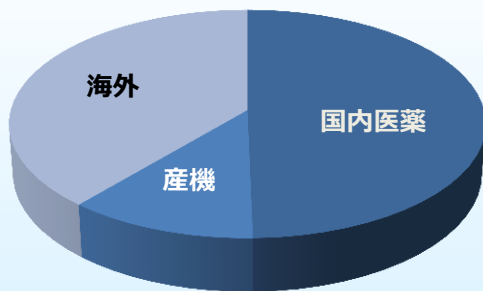
第6次中期経営計画期間の事業部別重点戦略

機械部門

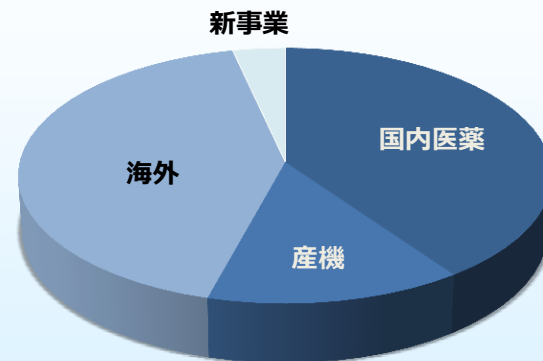
…グローバル展開加速と製品開発強化

- 国内 : **競争力強化**
- アジア : 中国、インドに戦力集中
- 米州 : 新規顧客開拓と新製品販売に注力
- 欧州 : **スマイリーエリア** (注) (欧州・中東) での販売強化
- 産機 : 健康/食品向け強化と電池業界への本格参入
- 開発 : **市場ニーズにマッチした新製品開発とスピードアップ**
- **生産** : フロイント・ベクターの工場増設と海外で部品生産検討

14/2期
110億円



17/2期計画
142億円



注) スマイリーエリア : Freund-Vector社のEU5周辺国・地域の社内呼称

マーケット・インの発想で開発強化

ハイコーターオリジナル



- ハイコーターシリーズの海外向け仕様

オールインタイプ コンテインメントラボ機



- 洗淨から乾燥まで一貫対応
攪拌造粒機、整粒機、流動層造粒、
コーティング機、錠剤コーティング機、
混合機を搭載

コンテインメント装置は、医薬品や毒性のある
化成品原料を扱う研究開発などの工程で、
人体への影響が心配される危険・有害物質の
飛散や人への曝露を防御する。

超音波スクリーン式ターボスクリーナー

- ターボスクリーナーへ超音波技術を導入
TELSONIC社(スイス)との共同開発
- ステンレススクリーン
金属検知器による破れチェックが可能に
- 従来機との互換性
最小限の部品追加で従来のターボスクリーナーに
取付可能



ジェネレーター
(超音波発生器)

医薬業界にニーズのある
ステンレススクリーンへの対応

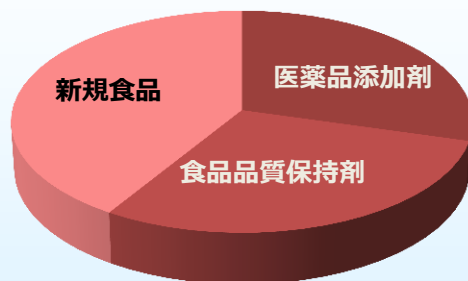
第6次中期経営計画期間の事業部別重点戦略

化成品部門

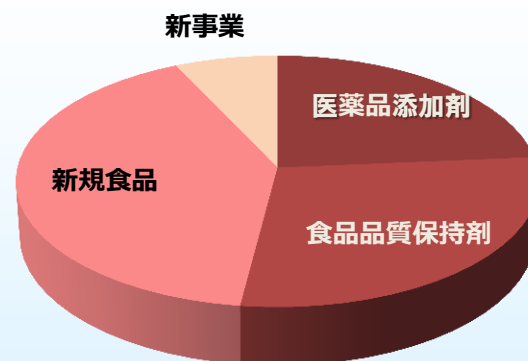
・・・新製品拡充と既存品の競争力強化

- 医薬品添加剤 : **先発・G E 薬の取り込み**
- 栄養補助食品 : 既存品の受注強化と新規事業開発
- 食品品質保持剤 : **製品ラインアップの拡充と営業強化**
- 開発 : **スピードアップと最低年間で1品目上市**
- 生産 : **生産拠点統合やライン共有化でコスト削減**

14/2期
66億円



17/2期計画
88億円



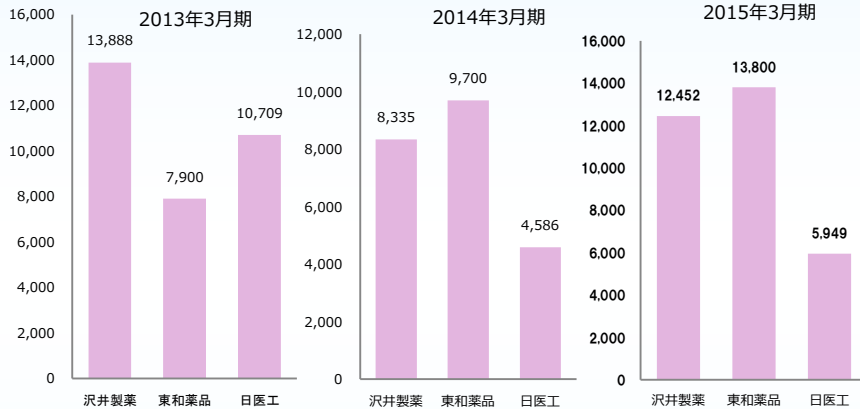
後発医薬品業界の状況

ロードマップ対応に、さらに骨太方針への対応が必要

2018-2020年度
1000億錠相当(80%)

2017年度
840億錠相当(70%)

後発医薬品企業(GN上場3社)の
備投資の状況(注1)



骨太方針 2015

2015年7月~2021年3月
他国に例を見ない
急激な数量目標
への対応(80%目標)

2013年4月~2018年3月
ロードマップ
への対応(60%目標)
2017年度末 720億錠

流通(変動情報を含む
バーコード表示対応)の
ための投資なども必要

2007年10月~2013年3月
アクションプログラム
への対応(旧30%目標)

2014年度実績
565億錠相当(52%)

2018年頃~
低分子薬
特許切れ減少

2002年4月
【初めての具体的な促進策】

- 後発医薬品調剤加算(2点)の新設
- 医薬品品質情報提供料(10点)の新設

2012年度実績
435億錠相当(40%)

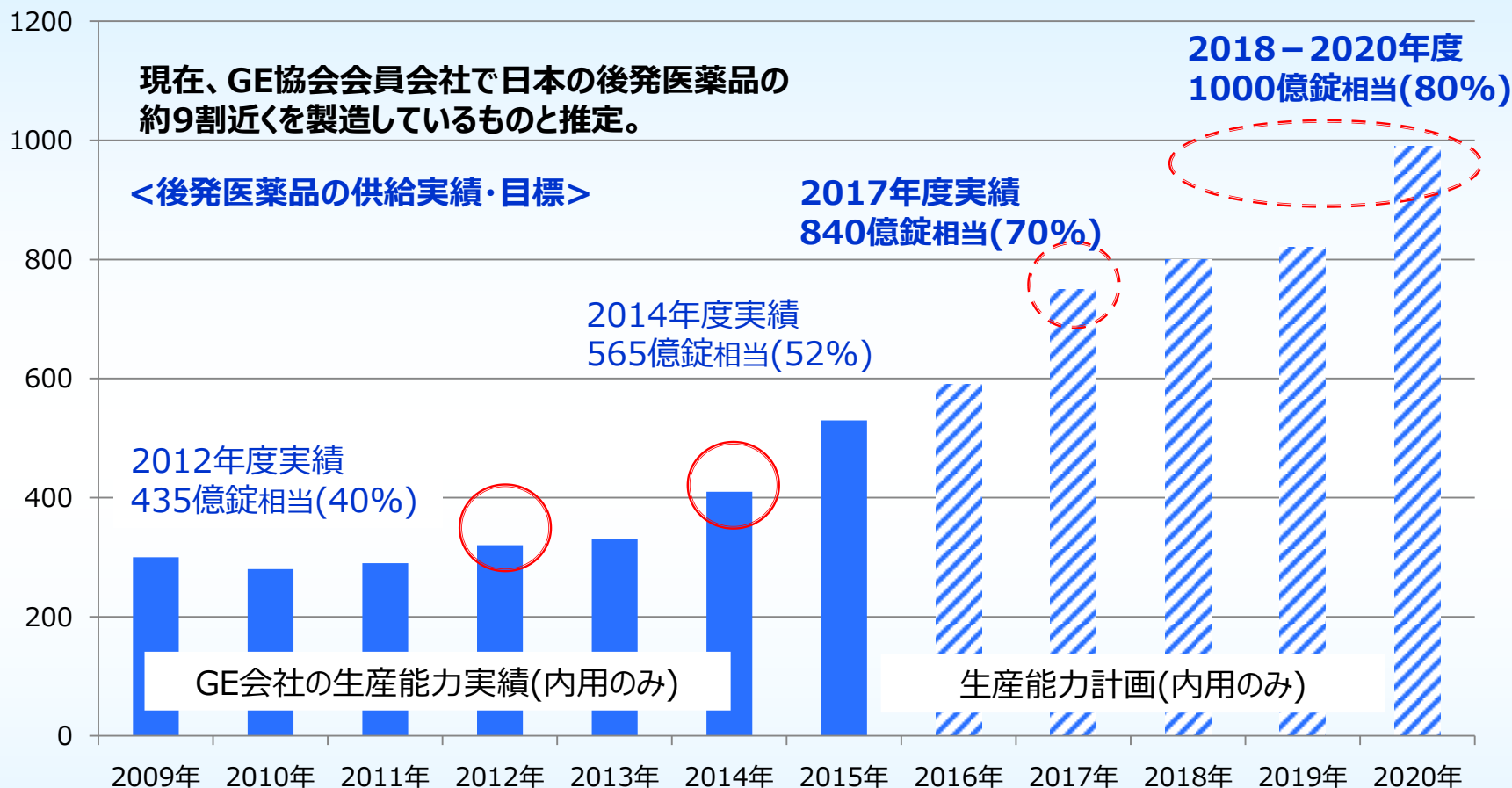


出典: 数字(億錠相当)は後発医薬品(内用・注射・外用)の供給量。2012年、2014年度実績は、日本ジェネリック製薬協会調べ。

(注1) GN薬上場3社の数値は各社公表資料を引用。

後発医薬品企業の生産能力と設備投資等の状況

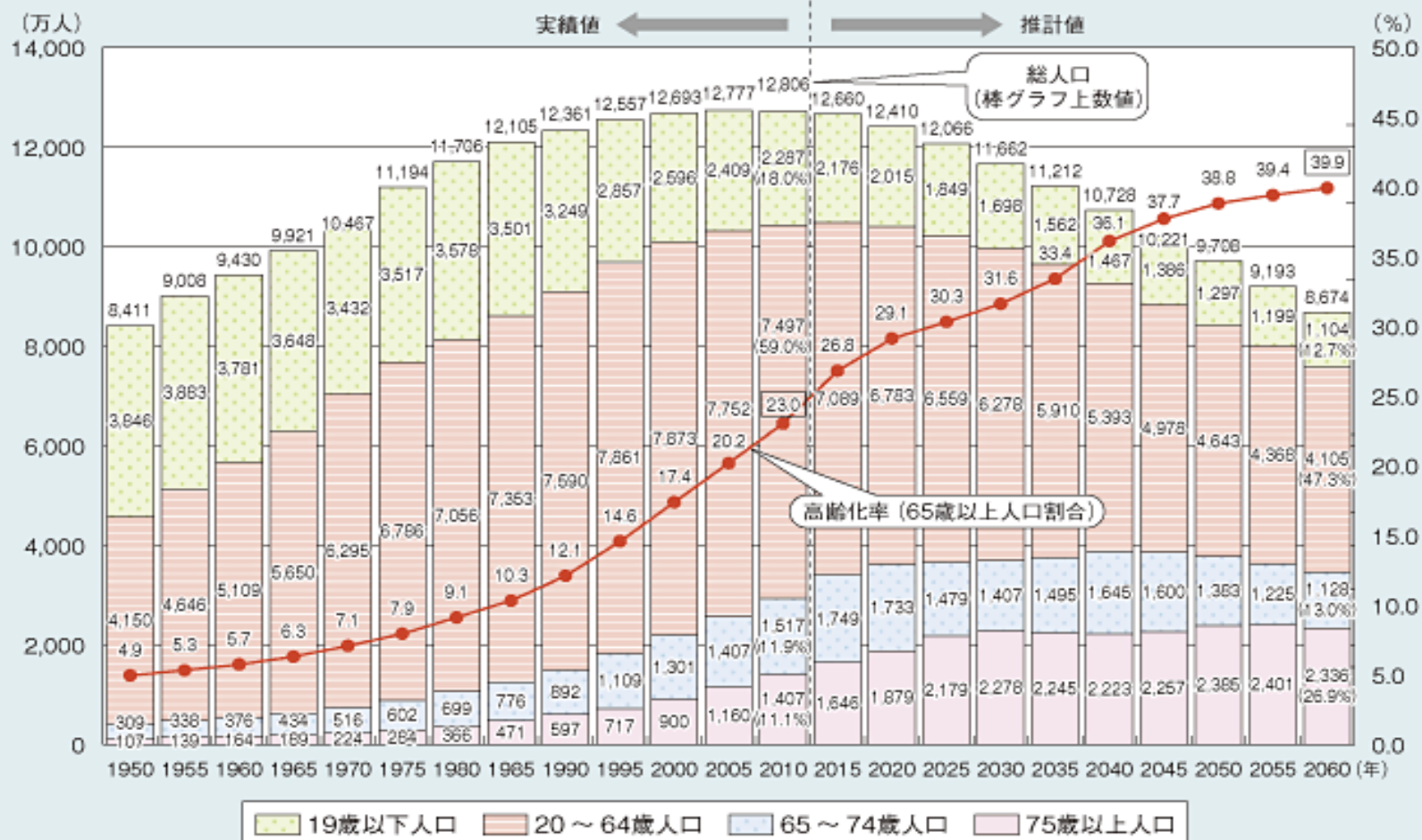
(単位：億錠)



設備投資実績 累計3,216億円

出典：日本ジェネリック製薬協会調べ
(2015年7月 安定供給に関するアンケート)
内用薬の生産能力(単位：億錠)について、
会員会社の回答(実績・見込み)の合計

国内の2060年までの高齢化と人口動態の推移

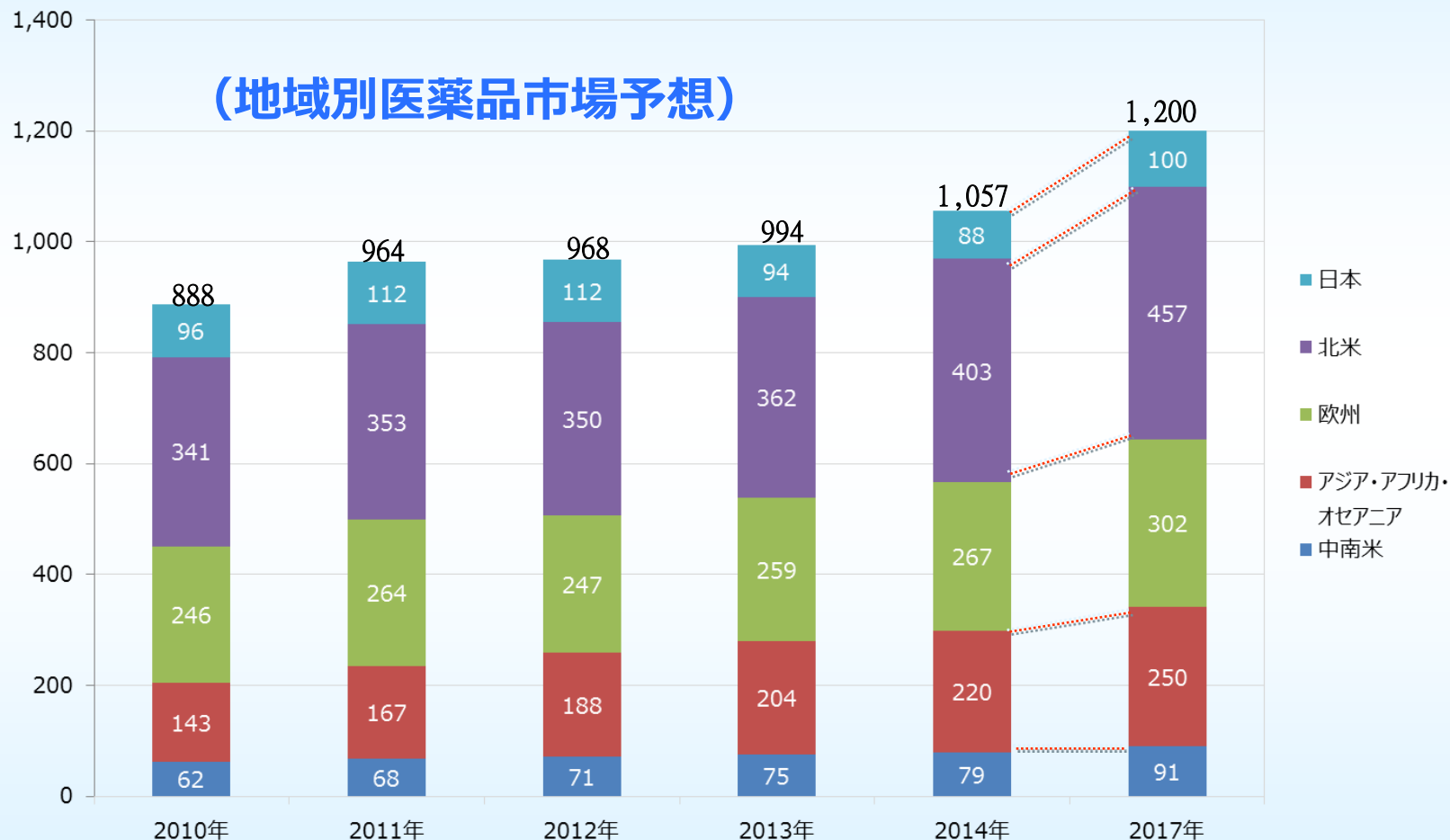


資料：2010年までは総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

(注) 1950年～2010年の総数は年齢不詳を含む

第6次中期経営計画期間の事業環境想定(グローバル)

世界医薬品市場は途上国が急拡大



参考：100Bnドル = @100円で換算すると10兆円相当額

(出所) IMS Health Outlook 2015

IV. 今期の業績予想及び株主還元

2017年2月期業績予想

- ジェネリック関連製品が好調で、2ケタの営業増益を見込む。

	2016/2期	2017/2期 (予想)	前年比増減	
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	%
売上高	19,027	20,000	+973	+5.1
営業利益	1,346	1,900	+554	+41.1
経常利益	1,394	1,900	+506	+36.2
純利益	961	1,180	+219	+22.8
一株純利益 (注)	55.74	68.43	+12.69	
設備投資	266	300	+34	
減価償却費	321	320	±0	
研究開発費	687	700	+13	

(注) 2016/3/1付けで株式分割1対2を実施しており、一株利益は分割調整後に修正しております。

部門別収益見通し

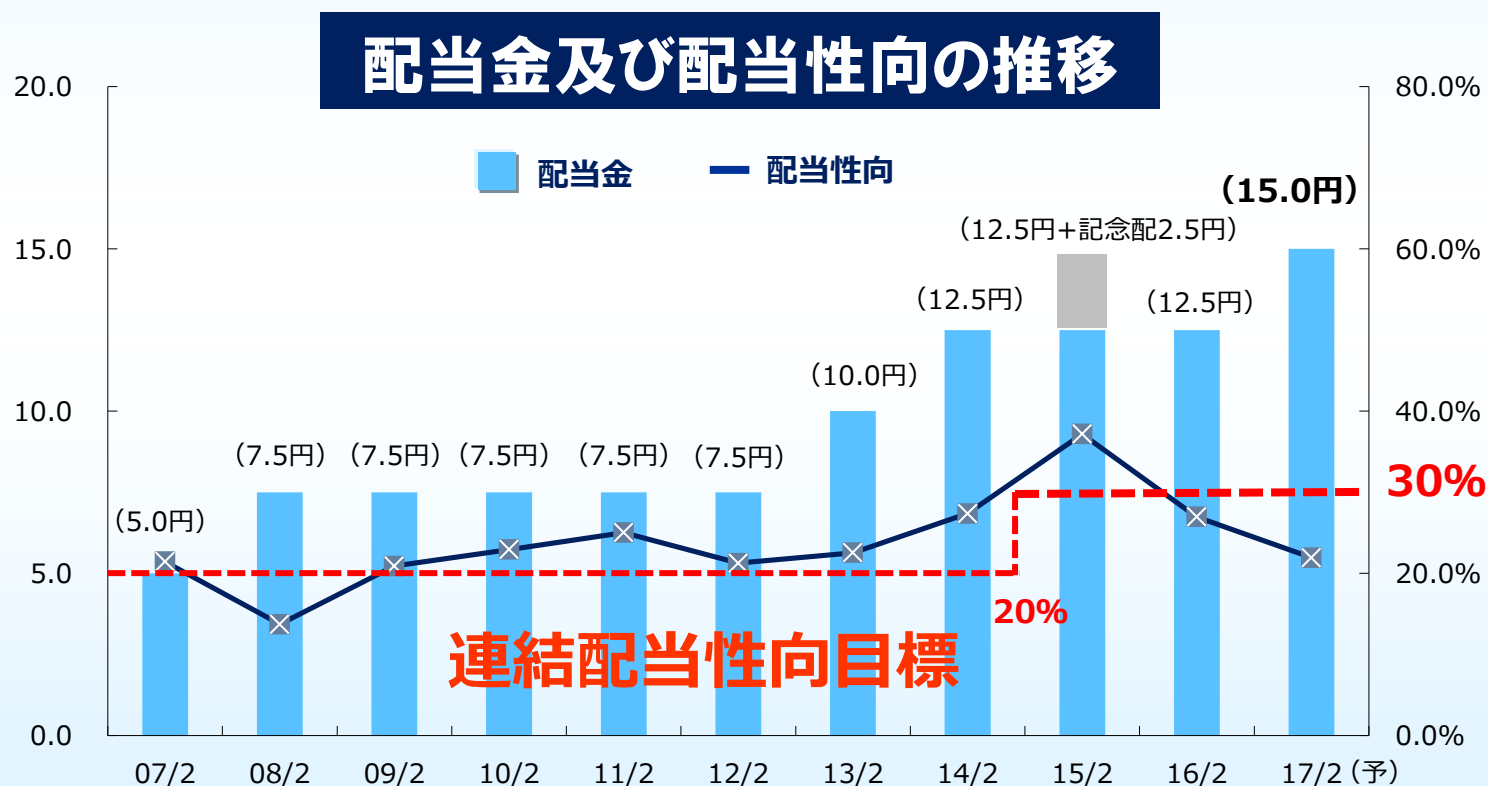
- 機械部門は、国内向けが牽引。
- 化成品は、新規食品の一部メーカーの生産調整が継続。

(単位：百万円)

	2016/2期		2017/2期 (予想)		前年比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	(百万円)	%
連結売上高	19,027	100.0	20,000	100.0	+972	+5.1
機械部門	13,037	68.5	14,150	70.7	+1,113	+8.5
化成品部門	5,990	31.5	5,850	29.3	△140	△2.3
セグメント利益	1,346	100.0	1,900	100.0	+553	+41.1
機械部門	1,189	88.3	NA	-	-	-
化成品部門	519	38.6	NA	-	-	-
全社、消去	△362	△26.9	NA	-	-	-
為替(円/ドル：+は円高)	121.1	-	110.0	-	△11.1	-

配当予想

- ・年間の連結配当性向目標は30%。
- ・2017年2月期末の一株当たり配当金は15円を計画。



(注) 2016/3/1付けで株式分割1対2を実施しており、16/2期以前の配当金は分割調整後の金額です。

株主還元 株主優待

- 2015年2月期、株主優待制度を導入
- 2016年2月期に**長期保有株主様**に株主優待制度を追加

中間期末株主様に
「オリジナル・クオカード」を謹呈しています。



【2016年2月期の優待品】

【優待内容】

所有株式	贈呈内容
1年以上	クオカード 1,000円分
3年以上	クオカード 2,000円分

(毎年8月31日現在、1単元(100株)以上保有で当社株主名簿に記載または記録された株主様が対象となります。)

- ①.1年以上保有の株主様は1,000円相当。
- ②.3年以上保有の株主様は2,000円相当。

V. 參考資料

要約損益計算書

(単位：百万円)

	2015/2期		2016/2期		前年比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
売上高	17,424	100.0	19,027	100.0	+1,603	+9.2
売上原価	11,978	68.7	12,921	67.9	+943	+7.9
売上総利益	5,445	31.3	6,106	32.1	+660	+12.1
販管費	4,295	24.7	4,759	25.0	+463	+10.8
営業利益	1,150	6.6	1,346	7.1	+196	+17.1
営業外損益	99	0.6	47	0.3	△51	△51.9
経常利益	1,249	7.2	1,394	7.3	+145	+11.6
特別損益	3	0.0	△253	△1.3	△256	-
税引前利益	1,253	7.2	1,141	6.0	△111	△8.9
純利益	695	4.0	961	5.1	+265	+38.1

営業外損益

・営業外収益 106→64
・営業外費用 7→17

特別損益

・特別利益 10→3
・特別損失 6→256

要約貸借対照表

(単位：百万円)

	2015/2末	2016/2末	増減額
流動資産	12,782	13,053	+271
現金及び預金	4,870	4,042	△828
売上債権 (注)	5,272	5,694	+421
棚卸資産	1,771	2,432	+660
固定資産	4,495	4,153	△342
有形固定資産	3,403	3,135	△268
無形固定資産	146	182	+35
投資その他資産	944	835	△109
資産合計	17,277	17,206	△70

・商品・製品 +34
 ・仕掛品 +579
 ・原材料・貯蔵品 +47

流動負債	5,427	5,315	△111
仕入債務 (注)	2,786	2,580	△206
前受金	1,242	1,288	+45
固定負債	669	361	△308
退職給付に係る負債	187	194	+6
負ののれん	18	11	△7
負債合計	6,097	5,677	△419
純資産合計	11,180	11,529	+348

・当期純利益 +961
 ⇒自己資本比率
 63.6%→67.0%

(注) 電子記録債権債務含みます。

要約キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2015/2期	2016/2期
営業キャッシュ・フロー	822	290
税引前利益	1,253	1,141
減価償却費	308	321
為替差損益（△は益）	△44	14
売上債権の増減額（△は増加）	△781	△430
棚卸資産の増減額（△は増加）	12	△620
前受金の増減額（△は減少）	252	45
仕入債務の増減額（△は減少）	345	△170
法人税等の支払額等	△358	△499
投資キャッシュ・フロー	△240	△432
有形固定資産の取得による支出	△453	△304
財務キャッシュ・フロー	△284	△331
有利子負債の純増減額	△63	△62
配当金の支払額	△215	△258
現金及び現金同等物 期中増減額	440	△505
現金及び現金同等物 期末残高	4,548	4,042

Memo

経済産業省選出 グローバルニッチトップ企業100選（GNT企業100選）

昨今の産業構造の変化や、求められるニーズの変化に迅速に対応するため、大企業や主要業界団体だけでなく、ニッチ分野において高い世界シェアを有し、優れた経営を行っている中堅・中小企業（以下、GNT企業という。）との関係を強化していくことが日本経済全体にとって求められています。本事業では、GNT100社の選定作業に必要な資料収集・分析を行うことで、GNT企業が直面する課題（通商問題、異業種連携、再編等）を洗い出すとともに、こうした企業を掘り起こし、認定も含めて支援していく制度（GNT100選）を新たに創設しました。最終的には、中長期的にGNT企業を輸出の担い手として育成し、GNTを目指す企業が、その考え方を参考にできるようにすることで、我が国産業発展の底上げをはかることを目的とします。

出所：経済産業省websiteから引用

〈お問い合わせ先〉
フロイント産業株式会社
コーポレート・コミュニケーション部

TEL:03-5292-0256

FAX:03-5292-0290

E-Mail : ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <http://www.frend.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。

ご清聴ありがとうございました。